

資料2 リスクアセスメント積算法の諸表

積算法とは、リスクを、 傷害発生の可能性（LO）、 危険源に曝される頻度（FE）、 起こり得る災害のひどさ（DPH）、 危険源に曝される人数（NP）の4つの要素に分け、それぞれのポイントを積算したものをリスクレベルのポイントとする手法である。

$$\text{リスクレベルのポイント} = \text{LO} \times \text{FE} \times \text{DPH} \times \text{NP}$$

各要素のポイントの割り付けは以下のとおりである。

傷害発生の可能性

傷害発生の可能性（LO）/危険源との接触	ポイント
ほとんど起こり得ない（あるとすれば右の数値 [1 / 300] 以下の発生率）	0.033
ほとんど起こりそうにない（しかし起こることも考えられる）	1
起こりそうもない（しかし起こり得る）	1.5
起こり得る（しかしほとんどない）	2
場合によっては起こり得る（起こり得る）	5
多分起こる（驚くに値しない）	8
起こりやすい（予期したときだけ起こる）	10
必ず起こる（疑いなく起こる）	15

危険源に曝される頻度

危険源に曝される頻度（FE）	ポイント
毎年	0.5
毎月	1
毎週	1.5
毎日	2.5
毎時	4
常時	5

起こり得る災害のひどさ

起こり得る災害のひどさ (DPH)	最悪の場合を考慮して	ポイント
擦り傷 / 打撲傷		0.1
裂傷 / 軽傷		0.5
小さな骨折または軽い病気 (一時的)		2
大きな骨折または大病 (一時的)		4
1本の手足、眼球および聴力の損失 (永久)		6
両手足、両眼球の損失 (永久)		10
致命傷 (死亡)		15

危険源に曝される人数

危険源に曝される人数 (NP)	ポイント
1 ~ 2人	1
3 ~ 7人	2
8 ~ 15人	4
16 ~ 50人	8
50人超	12

リスクレベル

リスクレベル	ポイント
レベル1 (取るに足りない) : 安全と健康にごく僅かなリスクしか呈さない。	5以下
レベル2 (程度は低いが重大): 安全の制御手段を必要とする危険を含む。	6 ~ 50
レベル3 (程度が高い) : 緊急に安全の制御手段の実施を要する潜在的な危険を有する。	51 ~ 500
レベル4 (容認できない) : この状態での継続的な運転は容認できない。	500超